

『インターネットを使った情報発信

～限られた時間で効果的に情報発信を行うために～』

特定非営利活動法人 CANPAN センター 代表理事

山田 泰久 氏



目次

【講演内容】

1. 情報発信の意義
2. 活動の可視化と価値化の重要性
3. スマートフォン（スマホ）を意識した情報発信
4. 「分野×地域で一番詳しい団体」を目指す
5. キーワード検索のヒント
6. 引用されやすいホームページを目指す
7. 時間がない中で効果的に情報発信を行うために ～分業体制と紙媒体の利用～
8. 役立つ機能のご紹介
9. ブログの活用

【質疑応答】

10. ホームページ改訂のタイミング
11. 検索結果の上位に表示されるためにはどうしたらよいのか
12. 検索結果の上位に表示されるためのキーワードの調べ方
13. 会員と非会員に対する情報発信の差別化
14. ホームページにおける写真の利用
15. 時事ネタを上手に利用する

【講演内容】

1. 情報発信の意義

患者団体の場合は、情報を必要とする人たちへ届けることに加え、自ら情報を発信できない人に代わって「市民の立場で」情報発信するという目的もあります。患者さんの今の生活の状況を、当事者やその親御さんに代わって皆さんが発信することが、行政や国を動かすことにつながります。

2. 活動の可視化と価値化の重要性

活動から生まれた価値、つまり、皆さんが今まで行ってきた活動がどのように患者さん、あるいは家族の方のために役立ったのか、あるいは社会をどのように変えていったのかを言語化して情報発信をしていただくことが重要です。団体を支援すること、団体活動に関わることで、患者さんにどのように役に立つのかを伝えることもみなさんの活動の1つとして必要だと思います。

3. スマートフォン（スマホ）を意識した情報発信の必要性

Google の検索は「モバイルファースト」という仕組みを導入しており、スマホで見やすいサイトが常に上位に表示されるようになってきました。情報発信を行う作業はパソコンで行うと思いますが、作業後にご自身のスマホでどのように表示されるのか確認し、スマホを意識した構成にしておくことが重要です。

4. 「分野×地域で一番詳しい団体」を目指す

インターネットで情報を探す人にはいくつか種類があります。「初めてそのこと（皆さんの場合は疾患や治療法など）を知りたいと思っている人」「ある程度知っているけれど、より専門的なことを知りたい人」「地域の情報を知りたい人」などです。基本的な疾患の情報は必ず掲載しておく必要がありますが、特定の地域における治療を受けられる病院や、専門の先生の情報も求められている時代になります。

5. キーワード検索

病気や医療に詳しくない人なら、どんなキーワードで検索をするのかを是非考えていただきたいと思います。例えば、頭痛がある方は、「頭痛」で検索するのか、それとも「頭が痛い」で検索するのか、入力するキーワードによって検索結果が変わってきます。

6. 引用されやすいホームページを目指す

病気や医療に関する基本的な情報を掲載しておく、引用してもらえる機会が増えます。例えば皆さんのホームページを見て学んだ人が、「この団体のホームページはこんなに分かりやすい情報を発信しています」と SNS で発信してくれる可能性があります。

また、よく見られているニュースである Yahoo! のヤフートピックスでは、編集部が選んだ記事の下に初めてそのことを知った人でもわかるように関連するサイトを 3 つほど載せています。他者に引用されやすいホームページになっているかどうかという視点も重要です。

7. 時間がない中で効果的に情報発信を行うために ～分業体制と紙媒体の利用～

情報発信をする担当者がいないという話をよく聞きますが、「分業体制を作る」ことが重要です。パソコンが苦手な人でも原稿を書くことはできますので、パソコンができる人だけに負荷が掛かってしまわないように、原稿を書く人とパソコンでホームページに入力する人を分けることがポイントです。また、会報誌の原稿をホームページに利用することで、ホームページ掲載用に新たに原稿を作成する手間を省くことができます。

8. 役立つ機能のご紹介

Yahoo!の「リアルタイム検索」を使うと、Twitter や Facebook の投稿内容を検索することができます。皆さんが関わる病気のことが今どのようにつぶやかれているのか見ることができます。また、「Google アラート」はキーワードを登録しておく、そのキーワードが入ったニュースをメールでお知らせしてくれる機能です。疾患の情報や福祉制度など、気になるキーワードを設定していただくことで、常に最新の情報を入手することができますし、最新情報に対して皆さんが解説記事を載せてホームページに掲載することで、より情報発信の質が高まります。

9. ブログの活用方法

現在のブログサイトはほとんどスマホ対応になっていますので、スマホで検索したときに見つけてもらえやすいという利点があります。

ただし、ブログを使用する際には、広告が付かないブログを使うことが大切です。例えば拒食症の問題に取り組んでいる団体が「ダイエットは危険です」という内容のブログの記事を書くと、ダイエット食品の広告が出てしまいます。広告が付かないブログとして、私どもが運営している CANPAN のブログは日本財団が運営している関係上、利用は無料で広告が付きません。

【質疑応答】

10. ホームページ改訂のタイミング

5年前に作成したホームページは、改訂のタイミングだと思います。ここ5年でスマホ対応が進んでおり、また古いホームページではキーワード検索に弱いホームページもあります。

11. 検索結果の上位に表示されるにはどうしたらよいのか

更新頻度を高めることが重要です。Google は、古い情報よりも新しい情報の方が有益だと判断し、新しい情報を優先して表示するようにしています。ホームページでの更新は大変ですので、ブログも活用しながら更新頻度を高めていくことが重要です。

12. 検索結果の上位に表示されるためのキーワードの調べ方

皆さんの関連する病気の名前を Google で検索すると、皆さんのホームページがトップに来ると思います。

これは Google が、皆さんが検索した結果を自動的に学習し、優先的に表示しているからです。Google Chrome（クローム）でインターネットを見ている方は、メニューバーのシークレットモードを使うと、過去の検索結果に影響されない検索結果が表示されますので、皆さんの団体を知らない方が病気で検索をした時、どのようなページが上位に表示されるのか確かめておくことも大切です。また、Google で検索すると、関連するキーワードが同時に表示されますので、キーワードの関連性を知ることも参考になります。

13. 会員と非会員に対する情報発信の差別化

例えばメルマガで行うのは第 1 号だけは誰でも無料で読めますが、次からは会員のための購読になります、という情報の差別化です。会員になることで、どのような情報が得られるのかを非会員の方に見せておくことが重要です。

14. ホームページにおける写真の利用

写真に共感することが多いので、ホームページに写真を掲載することは重要です。病気によっては個人の写真が出せない場合があると思いますが、例えば、患者さんとスタッフの方がインタビューをしていて、患者さんは後ろ姿、スタッフは笑顔で写っている構図を使うと良いと思います。リーマンショック以降、社長の顔写真が載っている企業の株価は上昇したというデータがありますので、誰が行っている活動なのか、代表者の顔写真やスタッフの集合写真を載せることが団体活動の信頼に繋がります。

15. 時事ネタを上手に利用する

情報発信の上手な団体は、関連する時事ネタに絡めて、この問題に関して自分たちは当事者団体として、このように考えています、と発信しています。そうすると、マスコミがその内容を見つけて取材に来てくれることがあります。マスコミに取材されることで、皆さんの病気や団体をより多くの方々に知っていただくことにつながるのです、このような方法も知っておいてください。